

動物園からこんにちは

札幌市立伏見中学校

第2学年理科資料

こんにちは。円山動物園の「幅崎」です。この週末は、定期テストへ向けての追い込みですか。テストが終わると中体連、そして夏休み。理科の学習も動物の単元から電流の単元へとなることでしょう。そろそろ、夏休みの自由研究へ向けての情報も必要ですね。さて、今回は、「動物舎の掃除方法」についてです



円山動物園の飼育舎の床？は、大きく2つに分けられます。一つは花子(アジアゾウ)のようにコンクリートの上に直接生活している飼育舎です。ここの清掃は、ホースから高圧水を出して汚れを流す方法で清掃します。(玄関掃除のイメージ)

もう一つの床は、ミニホースの飼育舎のように細かな砂や石を敷き詰めた床です。ここの清掃で活躍する用具が「熊

手」です。竹でできた単純な掃除用具ですが、原理を考えると「科学的」ですよ。今回のモデルは、校外学習で訪れた1年5組の皆さんです。熊手の先の爪の部分で砂、石、糞、乾草などをひっかいて空中に浮かせるように飛ばします。すると落ちるのが速い「石



や砂」と遅い「糞や乾草」が分かります。ちょうど1年生で学習した「地層のでき方」と同じ原理です。飛ばす方向と力かげんを考慮して丁寧に清掃すると、あっという間にきれいになります。最後に上に浮いてきた「糞や乾草」をちりとりでとって、一輪車に載せます。これがかなりの重労働、体力はどんな仕事でも大切な要素です

ね。一輪車の行き先は「堆肥庫」、ここは微生物の力で有機物を分解して再び土に戻す準備をしますところ。(3年生の範囲)堆肥庫の扉を開けると分解中のおいと

「暖かくしめった空気」が押し寄せます。微生物の活動すると熱が出るのです。ちょうど皆さんが食事をしたり(食べ物によって消化器官が動く)運動したり(筋肉が伸縮する)すると暑くなるのと同じなのです。命って暖かいものですね。では、また。(長鼻目ゾウ科、奇蹄目ウマ科)



「花子還暦祝」

アジアゾウ「花子」は、7月15日で60歳(推定)になります。日本で暮らすアジアゾウ66頭のうち第2位の長寿ゾウです。長年札幌の皆さんから愛されてきた「花子」長生きを祝って(願って)の行事が計画されています。詳しい内容は未定ですが昔のキーパーの話が聞けたり、クイズ大会など楽しいイベントが予定されています。(午後2時から熱帯動物館)



今回は、校外学習での活躍の様子もお知らせでもあります。皆さんの先輩たちは一生懸命がんばってくれました。皆さんも宿泊学習でたくさんの成果を上げていることと思います。まとめ集を楽しみにしています。さて、この班の生徒たち、動物園にとって特別の生徒となります。それは「花子還暦プロジェクト」の一員だからです。校外学習きっかけに動物園やそのスタッフ、ボランティアなどヒトとのつながりが広がったのです。皆さんも訪問先とのつながりを持ち続けてみませんか。